

# 3時間で学ぶ IoT時代の新規事業立ち上げ戦略

～IoTブームをいかに収益に結びつけるか～

受講  
対象

- (1) IoTという言葉をよく聞くが、あらためて理解したいという方
- (2) IoTに関わる技術を有しているが、それをいかにビジネスにつなげるかお悩みの方
- (3) 新規事業を立ち上げたいと考えており、“ネタ”を探索中の方

日時 2015年 11月 20日(金) 13:30～16:30

主催 日刊工業新聞社

会場 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム  
東京都中央区日本橋小網町 14-1 (住生日本橋小網町ビル)

受講料 32,400円 (資料、消費税込)

IoT (Internet of Things、モノのインターネット) は、毎日のように新聞紙上で目にする言葉です。今後、IoTに取り組まない企業は収益チャンス、ひいては発展のチャンスを取り逃すとも言われます。しかし、「IoTがどういうものなのかよくわからない」「IoTブームをどのように自社の収益に結びつけたらよいかわからない」という方もおられると思います。

このセミナーは、IoTとは何か?という基礎知識のおさらいから、センサなどのハード開発、ICT (ネット接続、クラウド) からの発展、ビッグデータ解析 (機械学習・人工知能による予測) などのポイントをご理解いただける内容とし、グローバルなIoTマーケットの拡大についても概観します。

また、プログラム中で機械学習、人工知能を用いた簡単なデモも行うことを予定しています。「IoTと言えるもの・言えないもの」のミニクイズもご用意しました。

その上で、著書「新規事業立ち上げの教科書 ～ビジネスリーダーが身に付けるべき最強スキル」がベストセラーとなっている講師が、IoTブームやIoTの技術をどのように新規事業立ち上げに活用し、収益に結びつけるかについて解説します。

IoTのビジネスに取り組むにはアライアンス (企業と企業の提携) が不可欠です。1社だけではIoTの構築は難しいため、アライアンスの活用がポイントとなります。

講師は、アライアンスの専門家であり、約7年で160社以上の豊富なコンサルティング実績を有しています。IoTのプロジェクトも増えているため、それらの実務を踏まえて技術をいかにビジネスにつなげるかに主眼を置きお話しします。

IoTは、新規事業立ち上げが必要であるにもかかわらず、ネタや方向性が不足している企業にとっても、大きなチャンスがある領域です。

IoTにビジネスとして取り組みたい方、新規事業立ち上げのきっかけを作りたい方は是非ご参加ください。

## 講師

株式会社ティーシーコンサルティング 代表取締役社長

富田 賢氏

【経歴】 慶應義塾大学・総合政策学部卒業、京都大学大学院・経済学研究科修了、経済学修士。米  
国系銀行を経て、独立系ベンチャーキャピタルの創業に参画、多くのベンチャーに投資し、  
上場へと導く。2年半で、VC会社自体の株式上場を達成。大阪市立大学の社会人大学院の  
専任講師、住友信託銀行を経て、2008年～現職。約7年で、150件以上の新規事業立ち  
上げを中心とするコンサルティング実績。著書に『新規事業立ち上げの教科書 ～ビジネス  
リーダーが身に付けるべき最強スキル』『これから10年活躍するための新規開拓営業の教科  
書』、『世界のエリートが教えるちょっとした仕事の心がけ』など。慶應義塾大学SFC研究  
所・上席所員として、IoTの大家である武藤佳恭教授とともにIoTの研究に取り組む。年間50  
回以上、セミナー等にて講演。http://www.tcconsulting.co.jp/



# プログラム

1. IoT (Internet of Things) とは…
2. IoTマーケットのグローバルな見通しと日本での関心の急激な高まり
3. IoTで重要なセンサやビッグデータ解析 (機械学習、人工知能) の基礎知識
4. 機械学習 (人工知能) を用いた簡単なビジネスへの応用のデモ (実演)
5. クイズ「IoTと言えるもの・言えないもの」 どのように判断するか?
6. 新規事業のタイプ分けとIoTに取り組むメリット
7. IoTは、アライアンスによる新規事業立ち上げの主戦場
8. IoTブームを、どのように自社の収益につなげるか?
9. IoTビジネスを展開する上でのポイント
10. 質疑応答 (日頃のお悩みや素朴な疑問を相談できます)

## 会場へのアクセス

### 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)  
 東京メトロ日比谷線: 「人形町駅」A2出口 徒歩3分  
 東京メトロ半蔵門線: 「水天宮前駅」8番出口 徒歩4分  
 都営浅草線: 「人形町駅」A6出口 徒歩3分



## 受講お申込方法

### お申込方法

お申し込みはWeb (<http://www.nikkan.co.jp/edu/semi/top.html>) かFAXまたは郵送にて受け付けております。申込受付後、受講票と請求書をお送りいたします。受講料は銀行振込にて開催日までに必ずお支払いください。尚、お支払い済みの受講料はご返金できかねますので、ご了承ください。振込手数料は貴社でご負担ください。

### 受講料およびお振込先

受講料: お一人様32,400円 (資料・消費税込)

#### 口座名義 (株)日刊工業新聞社

りそな銀行	東京営業部	当座	656007
三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
みずほ銀行	九段支店	当座	21049
三菱東京UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

※振込手数料は貴社にてご負担ください。

### お申込先

#### 日刊工業新聞社 業務局 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)  
 TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215  
 e-mail: j-seminar@media.nikkan.co.jp

20  
名様  
限定

11/20 2015年 (金)

FAX: 03-5644-7215

受講申込書 お早めにお申し込みください!

(受講料: 32,400円 資料、消費税込)

会社名			業種	
氏名	フリガナ		部署名	
連絡先	TEL ( ) - ( ) - ( )	FAX ( ) - ( ) - ( )		
	E-Mail	@	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。	
所在地	〒 □□□□-□□□□		都道府県	

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。  
 ※一度お振込みいただいた受講料につきましては、ご返金できかねますのでご了承ください。

#### 個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。  
 なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

No.150124